

組織名称	双葉保育園
補職名・氏名	園長 長谷川 昌子

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標		達成度
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）
<p><b>目標1</b></p> <p>一人一人が充実感を味わうための指導、支援の充実</p>	<p><b>健全な心と体を育む保育の充実</b></p> <p>1. 子どもの主体性を育てる遊びの充実</p> <p>①年齢に適した感覚機能を統合する為の戸外・室内遊びを職員間で話し合い、年間計画を作成し実施</p> <p>②いきいき遊び、体力アップのプラン作成、年齢に適した活動を職員間で工夫し毎日実施、効果測定（3月）</p> <p>③保育研究会（年5回）にて他園との遊びの交流をし、保育の見直しや評価・課題の検討と改善</p> <p>2. 要支援児に対する支援の充実</p> <p>①個別支援計画を作成し、支援をレベルアップ</p> <p>②ケース検討会議（月1回）を開催し、共通理解</p> <p>③保護者との個別懇談（年2回）行い、家庭と連携</p> <p>④関係機関（発達支援センター、ことばの教室、保健センター）と連携（年2回）した支援の充実</p>	<p>1. ①忍者の修行と題し、瞬発的に体の方向転換や普段動かさない箇所を動かせるように計画し実施</p> <p>②いきいき遊び、体力アッププランを作成。体力測定（7月）実施し、年齢に適した計画を見直し、毎日実施、体力低下をアップできたか効果測定（3月）実施予定</p> <p>③保育研究会年5回参加、保育の課題等改善</p> <p>2. ①個別支援計画作成し、個々にあった保育実施</p> <p>②ケース検討会議（月1回）開催し、職員共通理解を図り支援実施</p> <p>③保護者と個別懇談（6, 2月）実施</p> <p>④関係機関より園に訪問（5, 6, 1月）。子どもの様子や援助方法の共通理解を図り、支援を充実</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">T2</p>
<p><b>目標2</b></p> <p>円滑な園運勢の推進及び質の高い保育の提供</p>	<p><b>保育事業の充実と業務の見直し</b></p> <p>1. 職員の資質向上のための園内外研修の実施</p> <p>①保育研究講演会、専門研修、各種研修への参加（年1回）、実践資料等に基づいた園内研修実施</p> <p>②全体的な計画（保育課程）やその他年案月案の見直し、評価・課題の検証と改善</p> <p>2. 小学校へのスムーズな移行</p> <p>①小学校との交流及び中学校区教育懇談会への参加</p> <p>②小学校連絡会（年1回）、スマイルブック・就学支援シートを活用しての小学校へのスムーズな移行の実施</p> <p>3. 子ども支援課と連携し業務負担軽減の検討・実施</p> <p>①保育支援のシステム試験導入し業務負担軽減の検証</p> <p>②情報共有の工夫及び伝達事項の見える化</p>	<p>1. ①県への研修や幼児研究会などへの参加し、職員会等にて報告、園内研修（月1回）を実施</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の流行により計画の見直しや課題を検証</p> <p>2. ①新型コロナウイルス感染症拡大防止にて第1回中学校区教育懇談会は書面交流。第2回3月参加予定</p> <p>②小学校連絡会（10月）、スマイルブック（1月）・就学支援シートを作成し小学校へのスムーズな移行実施</p> <p>3. ①保育支援のシステム試験導入したが、配線の関係上現段階では大幅な業務負担軽減は不可判断</p> <p>②情報共有や伝達事項をホワイトボード等にて掲示及びメモにて各学年等確実に伝達</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">T3</p>
<p><b>目標3</b></p> <p>親子4363と連携した親支援</p>	<p><b>親支援の充実</b></p> <p>1. 早寝・早起き・朝ごはんの推進</p> <p>①園だより（年3回）や懇談会（年2回）で早寝・早起き・朝ごはんの大切さを周知</p> <p>②各年齢に応じた内容を検討し、生活のあゆみなどを活用し、生活の見直しを保護者に周知</p> <p>2. 子育て支援の充実</p> <p>①登降園時、個別懇談会（年1回）、クラスだより（月1回）、行事への参加にて子どもの日常の様子を保護者と相互理解し、子育ての支援</p> <p>②親子ふれあい遊びや絵本の紹介など情報提供</p> <p>③保護者に不適切な養育等が疑われる場合があれば市や関係機関と連携し、適切な対応で虐待予防や養育改善</p>	<p>1. ①園だより（月1回）、懇談会資料（5, 2月）で早寝・早起き・朝ごはんの大切さを周知</p> <p>②生活のあゆみに記載（5, 10, 1月）してもらい、比較し、懇談会資料や通信にて生活の見直しを保護者に周知</p> <p>2. ①登降園時、個別懇談（7月）、クラスだより（月1回）にて、保護者と子育てについて相互理解</p> <p>②園だより（月1回）、親子ふれあい遊びなど情報提供</p> <p>③保護者に不適切な養育等が疑われる場合、保護者への聞き取りや関連機関へ相談し、虐待予防や養育改善</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">T3</p>
<p><b>目標4</b></p> <p>子どもの健全な食育生活と心身の成長を図るための食育の推進</p>	<p><b>食育基本計画に基づく食育指導の推進</b></p> <p>1. 食育指導の充実</p> <p>①給食委員会（年5回）、調理研（月1回）、食育研（年6回）の研修結果を保育に反映</p> <p>②年齢に合った栽培活動（年5回）と園行事や園の生活にあった給食提供及びクッキング体験の実施（年2回）</p> <p>③懇談会及び通信での食育に関する情報提供の実施（年2回）</p> <p>2. 健康的な食事に対する意識の向上</p> <p>①サンプル展示やレシピを配布し、食への意識向上</p> <p>②アレルギー児への適切な対応及び環境を整備。食品の管理（毎日）の徹底より、安心・安全な給食提供</p> <p>③感染症拡大防止のため、消毒・給食後の掃除の徹底</p>	<p>1. ①給食委員会（年5回）、調理研（月1回）、食育研（年6回）にて研修結果を職員会等にて報告し、保育に反映</p> <p>②夏野菜9種やバイキング給食年4回にて食育指導等を行い、年齢及び園生活に適した給食提供</p> <p>③懇談会資料年2回やバイキング給食後写真などで掲示にて食事マナーなど食育に関する情報提供</p> <p>2. ①サンプル展示（3回）を写真にて掲示し、保護者に対し、日々の食への意識向上</p> <p>②アレルギー献立を調理員、保育士、保護者と見直し、確認し、毎日、安心・安全な給食提供</p> <p>③感染症拡大防止のため、消毒・掃除の徹底</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">T3</p>
<p><b>目標5</b></p> <p>地域に根付いた園運営や危機管理の徹底</p>	<p><b>地域と連携した園運営の充実</b></p> <p>1. 地域の環境や人財を生かした保育の実施</p> <p>①保育園、幼稚園、小学校との交流の実施</p> <p>②園庭開放、中央児童館での出張保育等にて親子触れ合いの場の提供</p> <p>2. 危機管理に対する保育士の意識向上</p> <p>①避難訓練（毎月）、交通指導（毎月）、防犯訓練（年4回）、午睡等確認（毎日）の実施</p> <p>②新型コロナウイルス、ノロウイルス等の感染症に対する感染予防の徹底、地域や保護者との情報提供、職員の意識向上</p> <p>③玩具や給食の誤飲・誤食予防の体制を強化</p>	<p>1. ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、運営懇談会6月は書面にて開催。第2回目は2月に開催</p> <p>②園庭開放12月に1回、中央児童館での出張保育1月に開催し、親子触れ合いの場を提供</p> <p>2. ①避難訓練、交通指導（毎月）、防犯訓練（年4回）、午睡等確認（毎日）を実施し、子供の安全確認</p> <p>②感染症に対する感染予防を徹底。消毒や子供・保護者・職員の毎日の健康チェック等を徹底し、運営懇談会や保護者に園内での対策等を情報提供</p> <p>③玩具や給食の誤飲・誤食予防のため、職員会等にてヒヤリハットの見直し、体制強化</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">T2</p>
<p><b>b 独自目標加算</b> （任意設定）</p> <p>例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等</p>	<p>（目標設定）</p>	

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
<p><b>目標1</b></p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>一人一人が充実感を味わうための指導、支援の充実</p>	<p>①「体力アッププラン」を作成。年間計画を見直し新たな教材や運動器具を取り入れ、年齢に適した活用方法を職員間で工夫し、いきいき運動遊びを毎日実施</p> <p>②朝の運動遊びコーナーを設定。未満児から年長児までが楽しめる内容の提案。定期的な見直しと改善</p> <p>③アスレチック、リズム遊び、鬼ごっこなど計画的な取り組みにより体幹や足腰を強化</p> <p>④教育委員会と連携して、ボール投げ、立ち幅跳び、握力を測定(年1回)。昨年度と比較し体力向上について保護者に情報提供</p> <p>⑤各年齢の課題の取り組みを通して、体作りだけでなく友達との関わりや心の成長を育む保育を実施</p>	<p>①「体力アッププラン」を基に年間計画に沿って毎日実施。器具の使い方や配置の工夫、動きの変化を楽しみながら意欲的に体を動かす姿が増加</p> <p>②リズムコーナーを新たに設定。手作りの遮断機やガソリンスタンドを配置した三輪車コーナーなど年齢に関係なく楽しめる工夫を繰り返し実施</p> <p>③体力づくりを意識した活動の計画的な実施により定着。積極的に参加する姿が足腰の強化に連動</p> <p>④7～8月に測定実施。保護者には昨年度との比較と園児の実態を2月の懇談会で報告</p> <p>⑤できるできないだけでなく、気持ちのコントロールや友達との関わりに目を向けた保育を実施。保育士や友達、保護者と成長の喜びを共有</p>	T2
<p><b>目標2</b></p> <p>保育事業の充実と業務の見直し</p> <p>質の高い保育の提供と危機管理の徹底</p>	<p>1. 保育事業の充実</p> <p>①園内外研修(研修報告、知識及び技能の共有)、保育研究会(年5回)による保育士の資質向上</p> <p>②全体的な計画を踏まえた保育を実施。年案、月案、週案、個別計画に反映し保育内容を充実</p> <p>2. 危機管理に対する職員の意識向上のため各種訓練の実施と振り返り。新型コロナウイルス等感染症に対する情報を職員及び保護者と共有し感染予防の徹底。マニュアルの再確認と職員連携</p> <p>3. 保育業務の見直しとして行事計画等の事前打ち合わせと報告事項の掲示及び朝礼での周知による職員会の時間短縮</p>	<p>1. ①独自の研修報告書を作成し職員会で報告。保育研究会(5回)園外研修(15回)に参加し、知識を習得</p> <p>②クラスの実態に合った内容を検討し作成。3本柱、育ってほしい10の姿を意識しながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した保育を実施</p> <p>2. 計画に基づき実施(外部からは交通指導5回、防犯訓練1回)。訓練後の職員連携の再確認により安全意識が向上。感染症拡大防止については随時メールや文書で情報提供。保育室の入念な清掃と消毒、検温、マスク着用、飛沫防止シートの使用を継続し体調管理を徹底</p> <p>3. 事前打ち合わせにより職員会時間短縮の実現。報告事項は配布と掲示。朝礼で周知、伝達の徹底</p>	T2
<p><b>目標3</b></p> <p>要支援児保育の充実</p> <p>要支援児に対する支援の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 支援の充実</p> <p>①個別支援計画を作成し、目標達成に向けた手立てと記録を基に、支援コーディネーターのアドバイスを受けながら支援をレベルアップ</p> <p>②ケース検討会議(月1回)を開催</p> <p>③保護者との個別懇談の充実(年2回)で家庭と連携</p> <p>④関係機関(発達支援センター、ことばの教室、保健センター、支援課)と連携(年3回)した支援の充実</p> <p>2. 小学校へのスムーズな移行</p> <p>①小学校との交流2回実施</p> <p>②中学校区教育懇談会(年2回)、連絡会(年1回)スマイルブック・就学支援シートを活用しての小学校へスムーズな移行の実施</p>	<p>1. ①毎週の記録を基に個々の姿を把握。個々の目標に向けた支援の指導の充実と改善</p> <p>②ケース会議(年2回)と研修教材の提供(1回)と報告(3回)及び資料提供による伝達研修(2回)</p> <p>③個別懇談は全員1回実施。支援児の保護者とは合意形成(16人)、就学と進級に向けた懇談(4回)を実施し連携を強化</p> <p>④発達支援センター(10回)ことばの教室訪問(4回)保健センター資料提供(16人)支援課訪問(4回)により支援方法の向上</p> <p>2. ①感染症拡大防止のため実施見送り</p> <p>②連絡会、引継ぎ会、小学校からの見学により、学校、園、家庭の実態把握と連携強化</p>	T3
<p><b>目標4</b></p> <p>親支援の充実</p> <p>親子4363と連動した親支援の充実</p>	<p>1. 早寝・早起き・朝ごはんの推進の為園だより(年2回)や懇談会資料(年2回)で情報提供し大切さを周知</p> <p>2. 子育て支援の充実</p> <p>①登園時、個別懇談会(年1回)、クラスだより、こいずみっこだより(月1回)、行事への参加等で子どもの日常の様子を保護者と相互理解</p> <p>②成長のあゆみを活用し、生活の見直しを推進。結果を集計し保護者に周知</p> <p>③親子のふれあい遊びや絵本の読み聞かせに関する情報を提供</p> <p>④保護者に不適切な養育等が疑われる場合があれば市や関係機関と連携し、適切な対応で虐待予防や養育改善</p>	<p>1. 懇談会資料において生活習慣全般について啓発。園だより(8回)クラスだよりでも周知</p> <p>2. ①主に送迎時とクラスだよりの返信欄で交流。子どもの成長や課題を共有し連携を強化。園全体の様子をこいずみっこだよりで発信(No.9まで発行)</p> <p>②保護者に成長のあゆみの各項目について期ごとにチェックを依頼。子どもの成長の確認と見直しに活用。結果を集計し成果を保護者に周知</p> <p>③各年齢に合ったおすすめ絵本をクラスだよりで紹介。こいずみっこだよりで読み聞かせの良さと、園だよりでふれあい遊びを紹介</p> <p>④不審な事例はなし。今後も子ども支援課と連携し、要対協の報告を毎月実施</p>	T3
<p><b>目標5</b></p> <p>食育指導の充実</p> <p>子どもの健全な食生活と心身の成長を図るための食育の推進</p>	<p>1. 栽培活動やクッキングの充実</p> <p>①年齢に合った栽培計画の立案と実施(年5回)</p> <p>②栽培物を収穫後、調理員と連携し給食食材として提供(年5回)。子どもの食に対する興味関心の向上</p> <p>2. 保護者に向けた食育指導と意識の向上</p> <p>①サンプル展示(月2回)及び、レシピ配布により、食への意識向上と食育相談の実施(アンケート年1回)</p> <p>②栽培物の持ち帰りの場合、家庭でも関心を高め、様子や感想を聴取</p> <p>3. 安心・安全な給食の提供</p> <p>①アレルギー児に対し、調理員、保護者、保育士が連携し毎日の献立表の確実なチェックにより誤食防止</p> <p>②衛生、食品管理の徹底(毎日)</p>	<p>1. ①栽培計画を作成し、11種類の野菜を収穫。収穫物を活かした食育や遊びに発展</p> <p>②収穫物を調理員と連携し給食材料として提供(29回)。子ども達の食欲増進</p> <p>2. ①写真によるサンプル展示及びレシピ配布を実施(16回)。アンケートは1回実施</p> <p>②収穫物を家庭に持ち帰ることで保護者にも食育に対する意識を強化。感想を聴取</p> <p>3. ①②毎月のアレルギーチェック表は保護者をはじめ5人で確認。毎朝礼時にアレルギー給食の確認と配膳時には声掛けとチェック表で誤食を防止。毎日食品の確実な検収と衛生管理で安心安全な給食を提供</p>	T3
<p><b>b 独自目標加算</b> (任意設定)</p> <p>例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等</p>	<p>(目標設定)</p>	<p>(成果)</p>	

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
<p>目標1</p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>一人一人が充実感を味わうための指導の充実</p>	<p>1、いきいき遊び、運動遊びの充実</p> <p>①「体力アッププラン」と足腰強化を中心とした年齢ごとの年間計画を作成。期毎の反省をもとに教材を工夫しながら運動遊びを毎日実施、効果を測定</p> <p>②保護者への健康・体力づくりの情報を提供</p> <p>③年齢にあったいきいき遊び教材を作成し、活用方法を工夫。職員間で交流。</p> <p>2、発達を促す保育の充実</p> <p>①実態に合った保育内容の工夫と展開。縦の学年交流による保育の確認</p> <p>②ケース検討会議（月1回以上）を開催し、支援児や気になる子の共通理解と支援の充実</p>	<p>1. ①子どもの実態を踏まえた体力アッププランと年間計画をもとに期毎の反省と体力測定7月実施。その検証後に幼児のあそびや生活に取り入れたい46の動きの取り組みを実施。効果測定（3月）</p> <p>②園だより（2回）、クラスだより（各2回）で体力アップを意識した取り組みや家庭でもできる遊びを紹介。</p> <p>③職員間でいきいき遊びを伝授、実践。コロナ禍でもできる内容、方法を検討リズム打ち等実施</p> <p>2. ①実態に合った保育の工夫、コロナ禍の情勢や感染対策を取った異年齢の交流を実施。</p> <p>②支援児担当2回、担任と担当のケース会議20回実施。幼児共通理解と支援方法を充実させ実践</p>	T2
<p>目標2</p> <p>保育事業の充実と業務の見直し</p> <p>質の高い保育の提供と危機管理の徹底</p>	<p>1、保育事業の充実と見直し</p> <p>①園内研（研修報告、知識及び技能の共有）、保育研究会（年5回）による保育士の資質向上</p> <p>②コロナ禍による通常保育や行事の見直し。保育の原点と安全を守った新保育様式の実施</p> <p>2、危機管理に対する職員の資質向上</p> <p>①交通指導と避難訓練（毎月）、防犯訓練（年4回）、午睡時確認（毎日）の実施と振り返り</p> <p>②地域と連携した引き渡し訓練の実施</p> <p>③新型コロナウイルス等感染症に対する職員の意識向上と感染予防の徹底。情報収集に努め、早期対応</p>	<p>1. ①研修内容を職員会で報告、保育研究会各学年5回参加、事前に話し合いを園内で各学年4回実施し研究会の充実と保育の向上</p> <p>②コロナ禍の保育と行事を見直し実施。原点に立ち返った保育と安全を意識した新保育様式を実践</p> <p>2. ①交通指導・避難訓練12回、防犯訓練4回、午睡時確認毎日実施。反省をもとに改善、実践</p> <p>②コロナ禍により中止。送迎の方法を保護者に書面で確認</p> <p>③毎日の朝礼、職員会で感染状況・対策の確認、徹底。職員の意識を維持し、感染予防対策を強化。安全安心の保育を徹底</p>	T2
<p>目標3</p> <p>要支援児保育の充実</p> <p>要支援児に対する支援の充実と関係機関との連携</p>	<p>1、支援の充実</p> <p>①個別支援計画を作成し保護者と懇談実施（年3回）</p> <p>②保育所等訪問支援事業を活用し適切な指導の定着</p> <p>③関係機関（発達支援センター、ことばの教室、保健センター）と連携（年3回）した支援の充実</p> <p>2、小学校へのスムーズな移行</p> <p>①小学校職員との子どもの交流実施</p> <p>②中学校教育懇談会（年2回）、連絡会（年1回）スマイルブック・就学支援シートを活用しての小学校へのスムーズな移行の実施</p>	<p>1. ①個別支援計画12人作成。保護者面談38回実施し情報や支援方法の共有。次年度引継ぎ内容確認</p> <p>②訪問支援事業16回実施。指導の確認、支援の定着、共通認識による保護者支援を実施</p> <p>③関係機関と5回、保健センターと14回、支援・保護者対応等連携し、支援を充実させ実践</p> <p>2. ①共栄・北栄小学校、コーディネーター研で支援方法等の交流を実施（7回）</p> <p>②教育懇談会1回、保小連絡会3回、スマイルブック（3人）、支援シート（4人）の活用により小学校へのスムーズな移行を実施</p>	T3
<p>目標4</p> <p>親支援の充実</p> <p>親育ち4363と連動した親支援の充実</p>	<p>1、子育て支援センターの充実</p> <p>①支援センターの役割を整理・記録</p> <p>②コロナ禍で行う行事を見直し、事業内容を工夫。安全、安心な行事や園庭開放を実施</p> <p>2、早寝・早起き・朝ごはんの推進</p> <p>①園だより（年2回）や懇談会（年2回）で早寝・早起き・朝ごはんの大切さを周知</p> <p>②保護者に生活習慣アンケートを実施し（年1回）結果を分析して周知</p> <p>③生活習慣の向上につながる「NOテレビNOゲーム」の推進</p>	<p>1. ①書類、個人情報の扱い等を見直し、事務手順、具体的な仕事内容等を整理・記録作成</p> <p>②コロナ禍での行事の見直しと工夫で安全に配慮した取り組みと園庭開放を実施。来所者累計2153人（12月末）</p> <p>2. ①生活習慣について園だより3回、個別懇談とクラス懇談（2回）で生活習慣について2回周知。</p> <p>②生活習慣アンケートを2月実施。分析結果から参考文献をもとにクラス懇談会で大切さを周知</p> <p>③「NOテレビNOゲーム」について、ほけんだよりを2回発行（ゲーム依存症・親子の触れ合い等）</p>	T3
<p>目標5</p> <p>食育指導の充実</p> <p>子どもの健全な食生活と心身の成長を図るための食育の推進</p>	<p>①食育計画の活用を見直し、年齢にあった食育指導の実施</p> <p>②給食委員会（年5回）調理研（月1回）食育研（年5回）の参加と園内交流</p> <p>③年齢ごとに見直しをもった栽培計画の立案。植物の生長から自然や食育への興味関心の増幅</p> <p>④食物アレルギー児への適切な対応と職員間の連携による食品管理の徹底。安心・安全な給食の提供</p> <p>⑤支援センターの食育講座とサンプル給食による食育の推進</p>	<p>①給食委員会を中心に食育計画を活用。年齢にあった食育指導を実践</p> <p>②給食委員会5回、調理研10回、食育研4回参加。職員会で報告しコロナ禍で工夫できる食育を推進</p> <p>③年齢ごとに栽培計画（キュウリ・スイカ等）を立案、実行。春・夏野菜等の成長過程の気付きが子どもの食欲に反映し、秋以降残菜減少</p> <p>④保護者、調理員、担任、他職員とアレルギー対応について密に連携。安全・安心の給食を提供</p> <p>⑤支援センター食育講座1回実施（3月）写真によるサンプル給食紹介10回、1月からは実物紹介を3回実施</p>	T3
<p>b 独自目標加算 （任意設定）</p> <p>例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等</p>	（目標設定）	（成果）	

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
<b>目標1</b> <b>健全な心と体を育む保育の充実</b> 一人一人が自分を発揮できる指導、支援の充実	1. いきいき運動遊びの充実 ①「体力アッププラン」を作成、体力向上を意識した年齢に合った取り組みを職員間で検討し、毎日実施。効果測定（3月） ②子どもが楽しめる運動遊びを検証し、計画的に実施 ③保護者へ意義を伝え健康・体力づくりの情報提供と推進 2. 発達に合わせた保育の充実 ①年齢に合わせた保育内容を職員間で検討し毎日実施。全体的計画を見直し検討 ②季節・環境を生かした体験活動や遊びを計画的に実施し意欲向上（自然・体験活動・食育活動・造形活動・世代間交流）	1. ①体力アッププランに基づき、今年度の計画案を作成し計画的に実施。体力測定結果を分析し効果の確認（3月） ②年齢に合わせ取り組みを検討し実施。的あて・修行カード・縄跳びカード等作成し意欲向上。 ③きたのっこだよりにていきいき運動遊びの意義を周知。活動をクラスだよりで発信。園だよりで親子運動遊びを毎月提供し保護者の意識向上。 2. ①職員会で発達に合わせた保育内容を検討、縦のつながりを確認。全体的な計画を見直し修正。 ②コロナ対策を行いながら、季節に合わせた遊びを検討し実施。調理員と連携し食育を実施。食への関心が向上。	T2
<b>目標2</b> <b>保育事業の充実と業務の見直し</b> 円滑な園運営の推進と保育士の質の向上	1. 保育事業の充実 ①新型コロナウイルス防止対策を随時検討。まん延防止チェックを月1回実施。職員間で共通理解と保護者へ協力依頼し安全な保育を実施（情報提供・検温・消毒・換気・保育環境の見直しを常に実施） ②園内研でリズム遊び・季節の遊びについて職員間で交流、実施し保育士の質の向上 ③保育研究会、コーディネーター研その他の研修に参加し保育の質の向上。職員会にて交流 2. 保育業務の見直しとして、定期的にローテーションの見直しを実施。保育の連携を充実し安全に配慮した職員配置を研究	1. ①新型コロナウイルス防止対策を職員間で随時検討。朝の朝礼で周知。保護者へ手紙配布、メール配信にて協力依頼。園内研でまん延防止チェックリストを確認。随時見直しを実施。毎日防止対策を実施。 ②職員会にて季節の遊びについて職員間で交流し実施。リズム遊びの正しい動きと意義を確認。 ③保育研、コーディネーター研、その他ZOOM研修に参加し資質向上。職員会にて交流。 2. 月1回の職員会でローテーション、土曜保育の職員配置を随時見直し実施。保育士間の連携を密にし安全な保育を検討。行事計画書のデータをまとめ今後の業務削減に活用。	T2
<b>目標3</b> <b>要支援児保育の充実</b> 要支援児に対する支援の充実と関係機関との連携	1. 支援の充実 ①個別支援計画を作成し、保護者との個別懇談（年2回以上）で家庭と連携した保育を実施 ②ケース検討会を必要に応じ開催・職員間で共通理解・周知 ③支援児小集団活動を計画的に実施し支援充実 ④関係機関（発達支援センター、ことばの教室、保健センター）と連携した保育を実施 ⑤訪問等支援事業を受け、支援をレベルアップ ⑥専門研修に参加し保育の質の向上 2. 小学校へのスムーズな移行のため、保護者面談、連絡会、就学支援シートを活用し連携	1. ①個別支援計画を14名分作成し保護者と個別懇談を実施。家庭と連携した保育を実施。 ②職員会で子どもの様子を交流。職員間で共通理解し保育を実施。 ③支援児小集団活動を11回実施。支援児保育の充実と子ども理解の促進、保育士の資質が向上。 ④発達支援センター来園2回、ことばの教室来園2回、発達相談に8名を繋げ連携した保育を実施。 ⑤訪問等支援事業を14回実施し保育の質を向上。 ⑥新型コロナウイルス感染防止の為延期。 2. 就学等支援委員会に8名繋げ適切な就学先を決定。スマイルブック引継ぎ会（9名）支援シート（11名）幼保小連絡会を通しスムーズな移行を実施	T3
<b>目標4</b> <b>親支援の充実</b> 親子4363と連動した親支援の充実	1. 早寝・早起き・朝ごはんの推進 ①園だよりや懇談会（年2回）で早寝・早起き・朝ごはんの大切さを周知 ②成長のあゆみや個別懇談を通して、家庭の状況を把握。一人一人に対応し子育て力の向上 ③園だより・クラスだより・きたのっこだよりを通して保護者の保育内容への理解、協力の推進。基本的な生活習慣の大切さを啓発 2. 保護者へ運動遊びを情報提供・推進 ①親子で遊べる運動遊びを園だよりで紹介し情報発信 ②地域の散歩コースをクラスだよりで情報提供し地域の資産を保護者に啓発（緑地公園・遺跡公園・八幡神社）	1. ①園だより、懇談会資料、きたのっこだよりで早寝・早起き・朝ごはんの大切さを保護者へ周知し保護者支援を充実。 ②成長のあゆみの記載を依頼。家庭の状況を把握し個別懇談で困り感を把握し、生活指導を実施。 ③園だより・クラスだより・きたのっこだより、写真掲示で保育の取り組みを発信、保護者と連携した保育を実施。 2. ①親子で遊べる運動遊びを園だよりにて毎月掲載。情報発信し提供。 ②八幡神社、遺跡公園、緑地公園へ散歩に出掛け地域の資産を保育に活用。お散歩マップを作成し保護者へ発信（3月）	T3
<b>目標5</b> <b>安全な保育の実施</b> 打ち合わせや訓練により安全、安心な保育の実施	1. 危機管理体制の強化 ①避難訓練、交通安全指導、施設・遊具点検（月1回）防犯訓練（年4回）実施。災害時の避難方法を引き取り訓練で保護者や地域と連携して実施 ②職員会にてヒヤリハットの交流・共通理解。環境整備を実施 ③保育室の環境整備・点検を（月1回）実施 2. 安心安全な給食の提供 ①調理員職員保護者と連携し、アレルギー児の誤食予防体制強化 ②衛生・食品管理の徹底と安全・安心な給食提供	1. ①避難訓練、交通指導、防災訓練、施設内外の安全点検はコロナ対策をしながら予定通り実施。引き取り訓練を実施し、問題点を共有。 ②職員会や朝の朝礼にてヒヤリハットを報告し共有。問題点を検討し改善。 ③環境整備、点検を確実に実行し安全な保育を実施。 2. ①毎朝朝礼にて調理員、保育士間でアレルギー食の確認。給食配膳時に再度チェックをし間違いなく提供。 ②マニュアルに沿った衛生管理を徹底し安全な給食提供を実施。	T3
<b>b 独自目標加算</b> （任意設定） 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動等	（目標設定）	（成果）	

組織名称	市之倉保育園
補職名・氏名	園長 渡辺真弓

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標		達成度	
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
<p><b>目標1</b></p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>一人一人が充実感を味わうための指導、支援の充実</p>	<p>1. いきいき運動遊びの充実</p> <p>①「体力アッププラン」を作成し、体力向上を目指して年齢に合ったいきいき運動遊びを毎日実施、効果を測定(3月)</p> <p>②職員のスキルアップを目指した園内研修・教材作成</p> <p>③保護者へ遊び・健康・体力づくりの情報提供と推進</p> <p>2. 発達に合わせた保育の充実</p> <p>①各年齢の発達・実態に合わせた保育内容を検討、実施</p> <p>②季節、環境を生かした体験活動や遊びの計画と実施</p> <p>③生活習慣確立のため、通信・成長のあゆみ等を活用して情報提供と保護者支援・指導の実施</p>	<p>1. ①年齢に合った運動遊びを毎日実施。山散策(随時)・園外保育(19回)で体力向上。効果測定(3月)</p> <p>②園内研修を9回実施。保育課題について共通理解し保育士資質向上。ボール投げ・どんぐり山散歩マップ等の教材作成を実施。</p> <p>③親子で楽しむふれあい運動遊びを掲載し(園だより4回、ポスター1回)、情報提供。</p> <p>2. ①会議にて検討・確認し(月1回以上)、環境設定や教材作成、発達・実態に即した保育を実施。</p> <p>②どんぐり山に各年齢出掛け、季節・環境を生かした遊びを計画し実施。</p> <p>③通信等で情報提供。個別に相談・指導を実施。</p>	T2
<p><b>目標2</b></p> <p>保育事業の充実と業務の見直し</p> <p>円滑な園運営の推進と保育士の資質向上</p>	<p>1. 保育事業の充実</p> <p>①保育研究会(年5回)・各種研修会への参加による保育内容の充実と職員間の交流</p> <p>②保育主任を中心として、教材等の研究・作成、保育に関する知識・情報の共通理解等、園内研修の充実</p> <p>2. 業務の見直し</p> <p>①伝達事項を可視化・掲示する等、確実な情報共有の工夫</p> <p>②年齢間の円滑な連携の為、適時代表者会議開催</p> <p>③定期的にローテーション、シフトを見直し。安全に配慮した職員配置を検討、実施</p>	<p>1. ①運営委員会を中心として遊びの交流・検討を行い、研究会に参加(5回実施。園内3回)。</p> <p>②保育主任中心で、教材作成・保育に関する知識・情報を共通理解等園内研究を充実(9回)。</p> <p>2. ①朝礼・その他の伝達事項は全て可視化・掲示して確実に情報を共有。</p> <p>②代表者会議を随時開催。保育内容検討・情報共有で年齢間の連携を充実させ、職員会の時間短縮。</p> <p>③延長保育の早番増員・土曜保育の保育士人数調整と共にクラス補助の仕方を見直し、安全に配慮した職員配置を検討、改善を実施。</p>	T2
<p><b>目標3</b></p> <p>要支援児保育の充実</p> <p>要支援児に対する支援の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 要支援児に対する支援の充実</p> <p>①個別支援計画を作成。保護者と面談(年2回)し、家庭と共通理解のもとで連携した保育を実施</p> <p>②ケース検討会議を開催(月1回)</p> <p>③保育所等訪問支援事業を活用し適切な支援習得、質向上</p> <p>④関係機関(発達支援センター、保健センター等)と連携した支援の充実</p> <p>2. 中学校区教育懇談会(年2回)、連絡会(年1回)、就学支援シート等を活用して連携し、小学校への円滑な移行の実施</p>	<p>1. ①担任・担当で検討し個別支援計画を作成。保護者と面談し(2回)共通理解のもとで保育実施。</p> <p>②担当同士、担当と担任など支援コーディネーターを中心としてケース検討会議を開催(14回)。</p> <p>③交流・話し合いを通して適切な支援の確認・検討・習得し、保育に反映。(12回)</p> <p>④関係機関との意見交流実施。ケース検討会議(2回)等を実施し、発達支援センターと連携した支援を充実。</p> <p>2. 幼保小連絡会(1回)、就学支援シートの活用等で連携し、小学校への円滑な移行実施。</p>	T3
<p><b>目標4</b></p> <p>食育基本計画に基づく食育指導の推進</p> <p>子どもの健全な食生活と心身の成長を図るための食育の推進</p>	<p>1. 食育計画の活用と見直し</p> <p>①給食委員会(年5回)、調理研(月1回)、食育研(年6回)及び調理と指導の工夫による食育の推進</p> <p>②調理員による新しいレシピの考案及び保護者へ配布・紹介</p> <p>2. 直接体験を通じた保育の工夫と実施</p> <p>①栽培収穫(玉ねぎ・さやえんどう・ジャガイモ・サツマイモ・ピーマン・トマト・きゅうり等)による食への関心向上と食育指導</p> <p>②調理員と連携したクッキング・調理による食育推進</p> <p>3. 食物アレルギー児への適切な対応及び衛生、食品管理の徹底(毎日)による安心・安全な給食の提供</p>	<p>1. ①給食委員会報告にて職員に周知、食育の意識を向上。調理と指導の工夫で子どもの食欲増加。</p> <p>②新しいおやつレシピを考案。園内にて実習し、保育士が実食。給食レシピは2回配布。</p> <p>2. ①栽培・収穫実施(玉ねぎ・ジャガイモ・ナス・ピーマン・人参・オクラ・ゴーヤ)。給食で調理、家庭へ持ち帰って家族で食べる、等を通して、食への関心向上と食育指導を実施。</p> <p>②調理員と連携し収穫食材調理実施で食育推進。</p> <p>3. アレルギーチェック表・毎朝の朝礼と配膳時に確認把握の徹底。衛生・食品管理の徹底と共に安心・安全な給食を提供。</p>	T3
<p><b>目標5</b></p> <p>地域と運動した保育内容の充実</p> <p>地域と連携した園運営と危機管理の徹底</p>	<p>①老人会交流(年2回)、公民館交流(年2回)、ひよこ広場(年5回)、地域行事参加(年2回)を実施</p> <p>②園運営への理解と地域の連携を図る保育所運営懇談会(年2回)を開催、地域行事へ出席</p> <p>③どんぐりの森清掃事業の円滑な実施</p> <p>④災害時を想定した引渡訓練(年1回)、避難訓練(年12回)、不審者訓練(年3回)の実施</p> <p>⑤新型コロナウイルス、ノロウイルス等感染情報を地域と共有し、感染予防を徹底</p> <p>⑥園だより(年12回)、クラスだより、いちのくらっこだよりにて、生活習慣の大切さ等を保護者に周知</p>	<p>①新型コロナウイルス感染拡大防止の為未実施。</p> <p>②運営委員会第1回を書面にて実施(6月)。2月に第2回を実施。園運営への理解と地域連携を充実。</p> <p>③各関係機関と連携し、円滑に実施(6月)。その後も連携して整備を円滑に実施。</p> <p>④引渡訓練(5月)、避難訓練(12回)不審者訓練(6月、10月、2月)、連れ去り防止指導(1回)実施。</p> <p>⑤地域(小学校)の感染情報共有と共に、毎日の検温、消毒や換気等を実施し、感染予防の徹底。</p> <p>⑥園だより(12回)、クラスだより(随時)、いちのくらっこだより(10回)にて、生活習慣をはじめ保育内容について保護者に情報提供、周知。</p>	T3
<p><b>b 独自目標加算</b> (任意設定)</p> <p>例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等</p>	(目標設定)	(成果)	

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
<p><b>目標1</b></p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>一人一人が充実感を味わうための指導、支援の充実</p>	<p>1. 運動が「好き・楽しい・得意」になる保育の推進</p> <p>①年齢に合わせた「体力アッププラン」を作成し、年間通して計画的に実施、体力向上の増進</p> <p>②多様な動きを引き出すいきいき運動遊びを工夫し毎日実施、乙票を視点とし効果を検証(3月)</p> <p>③健康・体づくりの情報を保護者に提供し、親子で運動する時間の推進、</p> <p>2. 心と体を育む保育内容の充実</p> <p>①実態を踏まえた保育内容の検討と、実践の充実</p> <p>②調整力を高めるための生活と活動の工夫</p> <p>③保育日誌、支援日誌を利用し幼児理解の推進</p>	<p>1①年齢に合わせた「体力アッププラン」に基づき計画的に毎日実施。朝活動時間を延長して実施し運動意欲が増進</p> <p>②年齢に合ったいきいき運動遊びを毎日実施、iPadの活用や乙票を視点とし効果を検証(3月)</p> <p>③家庭で気軽にできる運動遊びをクラスだよりを通じて保護者に情報を提供(各学年4回)</p> <p>2①学年会、クラス会を毎週1回実施し検討。連携が強化し保育内容が充実</p> <p>②生活や遊びの中で体をしなやかに使うことを意識した保育を実践、体力アップに直結。効果測定実施</p> <p>③保育所保育指針を活用し、保育日誌、支援日誌を作成。個の理解が深まり保育力が向上</p>	T2
<p><b>目標2</b></p> <p>保育事業の充実と業務の見直し</p> <p>保育士の資質を高め円滑な園運営</p>	<p>1. スキルアップのための保育研究会の促進</p> <p>①実践から学ぶ子どもの理解と保育内容の充実</p> <p>②研究内容の検討と共通理解のための園内研(月1回)実施</p> <p>2. 新型コロナウイルス等の感染症防止を徹底</p> <p>3. 保育業務の見直しとして、ホワイトボード、すぐメールを活用し確実な情報共有</p> <p>4. 危機管理体制の強化</p> <p>①ヒヤリハットを活用した園環境の安全確保と園児の怪我の緩和</p> <p>②避難訓練、交通指導(月1回)、防犯(年2回)、引き渡し(年1回)訓練実施</p>	<p>1①事前研を行い保育研究会に臨むことで、より深く幼児理解ができて保育力の向上に反映</p> <p>②動画にて実施</p> <p>2. 感染症拡大防止を保護者と連携し徹底。マスクの着用、健康チェック、手洗いを毎日実施。衛生管理に努め保育室内や玩具の消毒を強化し毎日実施</p> <p>3. 朝礼、朝礼ノート、ホワイトボード、すぐメールを活用し職員間の確実な情報共有の徹底を強化</p> <p>4. ①ヒヤリハットを活用し、園環境の整備(毎月1回)、朝礼(毎日)と職員会(毎月1回)で周知</p> <p>②各訓練を計画通り実施。未満児机上訓練を実施(3回)、避難手順の確認により意識が向上</p>	T2
<p><b>目標3</b></p> <p>地域と運動した園経営</p> <p>地域力を活かした保育の推進と保育内容の充実</p>	<p>1. 一貫教育充実プロジェクトの推進</p> <p>①早寝・早起き・朝ごはんの推進</p> <p>②生活習慣の大切さを保護者へ周知するクラス便り、園便りの発行</p> <p>③学力向上チェックシート、生活アンケートを実施し、分析結果を保護者へ周知</p> <p>④活動の様子を掲載したポスターの掲示や成長の姿を追った便りを発行し保護者への豊富な情報提供の促進</p> <p>⑤笠原校区一貫教育でのふれあい活動の充実(12月)</p> <p>2. 地域と連携した園運営として、地域のボランティアによる野菜栽培、読み聞かせ、育友会による見守り隊等地域資源を活用し、豊かな心とつながる力を育成</p>	<p>1①②個別懇談会、クラスだより、給食だよりを通じて保護者に情報を提供(年2回)</p> <p>③学力向上チェックシート、生活アンケートを実施し分析結果を保護者へ周知。個別懇談会で反映</p> <p>④活動の様子を掲載したポスターの掲示やお便りを各クラスで発信、読みやすく成長の姿がわかる内容を工夫し保護者に情報提供を促進(各クラス16回)</p> <p>⑤一貫教育ふれあい活動中止の為資料を作成し周知</p> <p>2. 畑の草取り、野菜の苗植え(10種類)、栽培、収穫、焼き芋会等食育ボランティアと交流や悠友会とのかるた会を通して豊かな心を増進</p>	T3
<p><b>目標4</b></p> <p>要支援児保育の充実</p> <p>要支援児に対する支援の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 支援の充実</p> <p>①対象児の姿を捉え個別支援計画を作成。記録を活かした支援内容の充実</p> <p>②ケース検討会議(月1回)を開催し支援の充実</p> <p>③関係機関と連携した支援の充実</p> <p>④個別懇談を実施し家庭と連携</p> <p>2. 小学校へのスムーズな移行</p> <p>①小学校との交流、職員間交流の実施</p> <p>②中学校区教育懇談会、幼保小連絡会、就学支援シート、個別支援計画を活用しスムーズな移行の実施</p>	<p>1①対象児の姿を捉え、個別支援計画(18名)を作成し保護者との合意形成実施。保護者、担任、支援担当と連携し支援が充実</p> <p>②副園長を中心にケース検討会議(月1回)を実施し支援方法を検討。支援児理解と支援の向上に直結</p> <p>③訪問支援事業や巡回相談、園訪問を実施し関係機関との連携が強化。対象児の理解が深まり支援方法や保護者支援が充実</p> <p>④個別懇談を随時実施し家庭と連携、情報を共有</p> <p>2①感染症拡大防止の為未実施。</p> <p>②教育懇談会(1月)幼保小連絡会(11月)支援シート(3月)を活用しスムーズな移行を実施</p>	T3
<p><b>目標5</b></p> <p>食育計画に基づいた食育の推進</p> <p>豊かな心と体を育む食育の在り方</p>	<p>1. 指導の充実</p> <p>①調理研(月1回)・給食委員会(年5回)食育研(年6回)の研修内容を活かした指導も充実</p> <p>②年間計画に沿った年齢に適したクッキング体験(年3回)等、直接体験を通し食育活動の充実</p> <p>③調理室の衛生管理、食品管理の徹底を実施(随時)</p> <p>④クラスを巡回しての食育指導の実施</p> <p>2. 「食」に対する情報提供と意識の向上</p> <p>①試食会や懇談会での情報提供</p> <p>②サンプル給食や写真展示による視覚的効果の実施</p> <p>③アレルギー食、離乳食等保護者と連携した安全な提供を実施</p>	<p>1①研修内容を職員に伝達。食育指導が向上し発展</p> <p>②担任と調理員で連携し収穫野菜を50回給食に提供。食欲が増強し残菜が減少、偏食改善</p> <p>③調理室の衛生管理、食品管理の徹底を強化</p> <p>④感染症拡大防止の為1回実施</p> <p>2. ①給食だよりを通して推進(2回)</p> <p>②給食写真掲示(月4回)とレシピ配布し、家庭での手作りごはんを推奨</p> <p>③アレルギー食、離乳食等保護者、担任、調理員が連携し安全に給食提供を実施。アレルギー対応メニューの試作を実施</p>	T3
<p>b 独自目標加算 (任意設定)</p> <p>例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動等</p>	<p>(目標設定)</p>	<p>(成果)</p>	

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
<p><b>目標1</b></p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>体力づくり（動きづくり）、心づくり、仲間づくりによる調和的な発達の育成</p>	<p>1. 豊かな遊びと環境構成の工夫</p> <p>①健全な体を育成する「いきいき運動遊び」を毎日実施</p> <p>②84の基本動作表で成長を確認（年2回）</p> <p>③主体的な「なかよし遊び」のための連携会議（週1回）</p> <p>④多様な動きを経験できる遊びや環境の工夫</p> <p>2. 指導計画の工夫と改善</p> <p>①幼児理解に基づいた記録と適切な評価の実施（毎日）</p> <p>②実態に合った保育計画を担任間で相談（週1回）</p> <p>③興味関心を高めるALT訪問（年4回）</p>	<p>1①②基本動作、多様な動きを盛り込んだ遊びの「体力アッププラン」を5月に計画し運動遊びを毎日実施。発達の特性に応じた遊びを継続して展開した結果、個別で基本動作の成長を確認（9月・2月）</p> <p>③④「なかよし遊び」の実態把握、計画、ねらい設定、実践、評価、改善を週1回の会議で深め合い職員間で共有。遊びの体験の質が向上</p> <p>2①②週案・記録を手書きからPC入力に変更。掲示で担任と支援担当や、担任同士で共有でき、計画、考察、評価が見やすく変容</p> <p>③ALT訪問は4回実施。ALTと指導内容の相談を重ね、園児の英語発音が増加</p>	T2
<p><b>目標2</b></p> <p>保育事業の充実と業務の見直し</p> <p>職員の資質を高めた安全な園運営</p>	<p>1. 園内外研修を通じた職員の資質向上</p> <p>①研究主題に沿った同僚性を高める園内研修の充実。公開保育の実施（年4回）</p> <p>②園外の研究会、研修による資質向上と学びの共有</p> <p>2. 新型コロナウイルス等、危機管理体制の強化と安心安全な保育展開</p> <p>①換気、消毒、新しい生活様式指導等、感染予防対策</p> <p>②引取り訓練の実施（年1回）</p> <p>③避難訓練・交通指導（毎月）、防犯訓練（年3回）で安全教育の実施</p> <p>④施設、遊具の安全点検（毎月）</p>	<p>1①公開保育は4回実施。研究主題の意図を確認し具体的な育ちを整理して検証。保育力が向上</p> <p>②推進研、課題研、幼児研、新採研、県研修等の内容を朝礼、職員会で共有。園内でもWeb研修（9回）、新図書研修（毎月）を実施</p> <p>2①毎日の環境衛生、園児への感染予防指導等を徹底し、感染防止</p> <p>②5月に緊急時引取り訓練を保護者と実施。無事終了</p> <p>③安全教育は計画通り実施し園児の迅速な行動が定着</p> <p>④毎月の施設点検では危険箇所を速やかに修繕</p>	T2
<p><b>目標3</b></p> <p>ことばの教室の運営と指導の充実</p> <p>特性に合った親子支援で幼児の発達を促進</p>	<p>1. 発達支援活動の充実</p> <p>①子どもの発達特徴を捉えた個別支援計画の作成</p> <p>②職員間で連携した小集団活動の工夫</p> <p>③教材の研究及び作成</p> <p>2. 安心できる親支援</p> <p>①保護者面談を実施。子育ての悩みを共有し支援</p> <p>②保護者向け学習会の実施（年1回）</p> <p>3. 関係機関との連携</p> <p>①園訪問による幼稚園・保育園と連携した指導（年2回）</p> <p>②療育機関と連携した会議の実施（月2回）</p> <p>③専門性に基づく発達支援の研究。公開保育を実施（年1回）</p>	<p>1①個別支援計画は52名作成。毎週の記録でねらいを確認しつつ特性にあった指導を計画</p> <p>②各集団の特徴に応じ、ねらいを段階的に発展させた指導を実施。輪番の指導リーダーが主となり展開</p> <p>③指導教材に絵本を継続して活用。紙芝居や拡大絵にする等、教材は毎週新たに作成</p> <p>2①面談で保護者の悩みを解消。教育相談申込9回</p> <p>②保護者向け学習会では現校長との応答形式の講話で実施。就学への不安が軽減</p> <p>3①11園との交流で園へ助言し、実態を指導に反映</p> <p>②WG、支援児研等、月2回の会議で療育の質を向上</p> <p>③公開保育では教育相談室指導主事の指導を受け専門性を高める研究会を実施</p>	T3
<p><b>目標4</b></p> <p>要支援児保育と親支援の充実</p> <p>安心な保育、子育ての推進</p>	<p>1. 要支援児保育の充実</p> <p>①個別支援計画を作成。保護者と面談（年2回）</p> <p>②支援コーディネーターを中心に毎日の記録を生かした支援の充実。ケース会議の実施（月1回）</p> <p>③ユニバーサルデザイン化による保育環境の整備</p> <p>④関係機関と連携した支援の充実</p> <p>2. 親支援の充実</p> <p>①園だより、HP、ポスター、クラス通信、メール配信参観、懇談会で保育内容の理解や情報提供</p> <p>②たじっこチャレンジ（年3回）、懇談で生活の見直しと改善</p>	<p>1①個別支援計画は6名作成し保護者と合意形成した面談を各4回実施</p> <p>②毎週の支援記録提出で指導を共有。関係する職員間でケース会議を適宜実施。訪問支援事業13回で支援の見直しと向上</p> <p>③誰もが理解できる掲示や指導を工夫し保育を展開</p> <p>④ことばの教室、発達支援センターと連携した保護者支援や指導の工夫を交流（5名）</p> <p>2①メール配信での情報提供回数を増加、HPの活動紹介ページを工夫する等、園理解の促進</p> <p>②たじっこチャレンジは7月・12月・2月に実施。生活習慣の見直しを保護者に啓発</p>	T3
<p><b>目標5</b></p> <p>地域と運動した園運営の充実</p> <p>地域に根付いた園運営と連携</p>	<p>1. 地域力を生かした保育の充実</p> <p>①地域と協力、連携した保育内容の展開（保育園、小学校、中学校、高校、公民館）</p> <p>②地域ボランティアとの交流（畑指導、絵本読み聞かせ、子キズナ養正）</p> <p>2. マイ幼稚園事業として未就園児向け園開放を年6回実施</p> <p>3. 母の会・小学校との連携</p> <p>①家庭と連携した子育ての推進（家庭教育学級年6回）</p> <p>②母の会活動の運営をサポート</p> <p>③小学校への滑らかな就学を支援</p> <p>④中学校区教育懇談会で連携の強化（年2回）</p>	<p>1①②一年ぶりに園児の地域交流を計画的に実施。公民館（3回）、多治見工業高校野球部（1回）、小学校との手紙交流（2回）で園児の社会性を推進</p> <p>2未就園児向け園開放3月に実施。次年度入園希望者には感染対策をして個別対応</p> <p>3①家庭教育学級、母親ボランティアを10回実施。交流で子育ての悩みを共有、解決</p> <p>②感染予防策を練り、相談しながら活動を実施。母の会活動運営委員会に3回参加</p> <p>③個に応じて支援シート、スマイルブックを作成（3名）。巡回相談、連絡会等で関係機関と連携</p> <p>④前期は書面開催の資料で実態を把握。後期は小学校との交流事例を周知し、今後の連携を相談</p>	T3
<p><b>b 独自目標加算</b>                  （任意設定）</p> <p>例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等</p>	<p>（目標設定）</p>	<p>（成果）</p>	

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標

標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	達成度
<p><b>目標1</b></p> <p>一人一人が充実感を味わうための指導、支援の充実</p>	<p><b>健全な心と体を育む保育の充実</b></p> <p>1. いきいき運動遊び及びなかよし遊びの充実                      ①自ら体を動かしたくなるような教材と環境構成の工夫をした「体力アッププラン」を作成。なかよし遊びやクラス活動と連動させ毎日実施                      ②教育委員会と連携し体力測定（年1回）園独自（年1回）実施。成果、課題を確認しいきいき運動へ反映                      2. 親支援の充実                      ①たじっこチャレンジ（年3回）NOテレビNOゲームデイの活用。便りを通し、保護者へ健康・体力づくり・生活習慣（早寝、早起き、朝ごはん）等情報提供                      ②個別懇談（年2回）、クラス懇談（年2回）を実施。保護者に寄り添い、連携を密にした保護者支援の実施</p>	<p>1. ①年間計画を基に、36の動きを掲示、共通理解し遊びに取り入れ毎日実施。なかよし遊びでは自ら運動遊びを選び体を動かそうとする姿の増加                      ②7月12月体力測定を実施比較。全体的な伸びと4歳児の投力に課題を確認。10月に5歳児親子で運動量計に取り組み、楽しく親子で体を動かす機会になり運動への関心が向上                      2. ①たじっこチャレンジ（年3回）、毎月第1週のNOテレビNOゲームデイ、1家庭1ボランティアを実施。アンケートや実践を家庭にフィードバックし家庭における教育力が向上                      ②個別懇談4月7月（希望者）11月、年2回の懇談会を実施。保護者と連携し保育を実施</p>	T2
<p><b>目標2</b></p> <p>研修を通した保育士の質の向上と業務負担軽減のための対策検討</p>	<p><b>保育事業の充実と業務の見直し</b></p> <p>1. 研修を通した保育士の質の向上                      ①昨年作成の指導計画に沿った保育の実施と見直し                      ②東濃地区新規採用研修（6月）の公開保育の実施                      ③園内研修で幼児理解、環境構成、指導援助を検討                      ④園長研修（11月）にて教育課題について発表                      2. 新型コロナ防止対応を踏まえた保育の充実                      ①小人数等密を避けた保育内容や行事の見直しと実施                      ②正しい手洗いの習慣づけと予防意識を家庭へ周知                      3. 業務の見直し                      ①必要書類の簡素化と効果的な書き方の検討                      ②見直しをもった計画と教材準備。全職員の協力体制を構築                      ③職場の5S周知と定期的な確認の実施</p>	<p>1. ①学期末に成果課題を確認。表にし全職員に周知。課題を明確にし共通理解の基、保育を実施                      ②6月公開保育は中止。紙面にて資料発表                      ③年3回実施。推進委員を中心に幼児理解、環境構成、指導援助の方法を探り保育の質が向上                      ④11月園長研修にて「質の高い保育を目指す園の組織づくり」を実践提案。園経営が向上                      2. ①行事ごとに状況に合わせて、感染予防に配慮した環境や方法をその都度検討し実施                      ②随時、手洗い、消毒、マスク着用の周知確認                      3. ①必要書類の見直し、検討                      ②教材準備等書き出し、担当振り分け実施                      ③学期末チェックシートにて5sと書類確認</p>	T2
<p><b>目標3</b></p> <p>要支援児に対する支援の充実と関係機関との連携</p>	<p><b>要支援内容の充実</b></p> <p>1. ことばの教室の運営と指導の充実                      ①個別計画の作成。園訪問の実施。                      ②「多治見市通級指導教室研修会」として公開保育と指導提案と実施ことばの教室と他機関との連携、支援の充実                      2. 他機関との連携と小学校へのスムーズな移行                      ①保護者との個別懇談(年2回)                      ②関係機関（聾学校、発達支援センター、保健センター等）と連携した支援の充実                      ③中学校区教育懇談会(年2回)、連絡会(年1回)                      ④スマイルブックの推奨。就学支援シートを活用した小学校へのスムーズな移行</p>	<p>1. ①個別計画を作成し、各園を訪問。7、8月希望園の指導見学実施。園と連携し指導に反映                      ②新型コロナウイルス拡大のため見送り。ワーキング等にて連携                      2. ①個別支援計画を作成、保護者懇談（6月、2月予定）日々保護者と連携を取り保育を実施。安定した気持ちで自分の力を発揮                      ②7月聾学校へ研修（2名）訪問等支援を受け援助方法を学びケース会議で全職員で共通理解                      ③第1回紙面、2月開催。連絡会に出席し連携                      ④スマイルブック新規4名。就学に向け、各機関と連携し情報共有。都度保護者と連携し、状況に合わせたスムーズな移行を実施</p>	T3
<p><b>目標4</b></p> <p>安全教育の実施と安心で清潔な環境の提供</p>	<p><b>危機管理体制の強化と安心安全な保育の充実</b></p> <p>1. 危機管理体制の強化                      ①引き取り訓練の実施、防災マニュアルの見直し                      ②避難訓練。交通教室（毎月）防犯訓練(年3回)の実施                      ③施設、遊具の安全点検を実施（毎月）                      2. 新型コロナウイルス感染症対策                      ①保育室の換気、清掃、消毒を実施                      ②園医と連携し、園児の健康管理を徹底                      3. アレルギー児を含むすべての子どもへの、安心安全な給食の提供                      ①アナフィラキシーに対する知識の習熟                      ②誤飲、誤食予防の体制の強化と意識の向上</p>	<p>1. ①6月引き取り訓練を実施。避難確保計画を検討し再構成。小学校と連携をとり職員に周知                      ②毎月の避難訓練、交通教室の実施。侵入事件を受け、12月防犯体制見直し訓練実施。課題を確認し改善。7月AED研修実施                      ③安全点検(毎月)を実施し不具合は支援課相談                      2. ①毎日の換気、清掃、消毒の実施                      ②薬剤師と連携し感染防止対策の見直しを実施。8月緊急事態宣言後、再度、環境の見直しを実施                      3. ①7月アレルギー講習に副園長が参加。他の職員に周知                      ②次年度アレルギー対応給食に向け、職員が学習。保護者に説明し準備を推進</p>	T3
<p><b>目標5</b></p> <p>地域と連動した円滑な園運営</p>	<p><b>地域に開かれた幼稚園運営の充実</b></p> <p>1. 地域の教育力を生かした保育の充実                      ①土岐川観察館と交流(年7回)実施し、自然体験活動を充実                      ②地域の小学校や老人ホームと交流                      ③地域の畑ボランティアと連携し栽培活動を充実                      ④未就園児への園庭開放                      ⑤評議委員会を実施し、園運営に反映                      2. 保護者の園運営・保育理解の推進                      ①ホームページ更新（月1回）                      ②関係機関へ園だより配布（月2回）                      ③家庭教育学級参加</p>	<p>1. ①土岐川観察館交流は新型コロナウイルス感染防止の為、その都度実施方法を検討し実施（5回）                      ②ハート京町へプレゼントと手紙を送り交流、思いやりの気持ちを育成                      ③12月タマネギ苗植え地域ボランティア参加実施。参加制限中も収穫物を職員が届け交流                      ④7月園見学実施、3月人数制限園庭開放予定                      ⑤6月紙面開催、2月評議委員会開催予定                      2. ①毎月更新。行事写真を掲示し、保護者に保育内容を可視化、保育理解が向上                      ②各関係機関へ毎月2回園便りを配布                      ③コロナの為、その都度内容を検討。人数を制限しての交流会、親子の取り組みなど実施</p>	T3
<p><b>b 独自目標加算</b> (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等</p>	(目標設定)	(成果)	

組織名称	明和幼稚園
補職名・氏名	園長 渡邊 恵子

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標		達成度
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）
<p><b>目標1</b></p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>一人一人が充実感を味わうための指導の充実</p>	<p>1. いきいき運動遊びの充実</p> <p>①多様な動きを身に着けることができるような、いきいき運動遊びを毎日実施</p> <p>②地域の自然を活用した戸外活動による体力向上</p> <p>③ボール投げ、立ち幅跳び、握力を測定（年1回）、成果を確認（3月）</p> <p>④保護者へ健康・体力づくりの情報を提供</p> <p>⑤教材等を作成し、実践。保護者アンケート（年1回）を実施。効果の確認と分析を実施、周知</p> <p>2. なかよし遊びの充実</p> <p>①昨年度作成した年間計画を検証、新たな取り組みを計画、実践しながら毎週記録を作成、検証</p> <p>②遊びこむための素材や環境を充実</p>	<p>1. ①発達に合わせた遊びを検討し、毎日実施。月2回振り返り、環境を工夫して次の遊びを充実。</p> <p>②定期的な山活動を通して、足腰が強化。</p> <p>③6月に実施。3月に成果確認。</p> <p>④保健日より、クラスだよりにて周知（5回）。3歳児対象に活動量調査を行い、保護者の親子で運動することへの意識を向上。</p> <p>⑤子供に合わせた教材を作成し実施。参観後アンケートを実施し、検証（2月）</p> <p>2. ①毎日遊びの振り返り・検討をし、年間計画を見直しながら遊びを計画、実施。</p> <p>②通信を利用し子どもの姿を定期的に知らせ、家庭と連携し、素材の提供や遊びの共感を促進。</p>
<p><b>目標2</b></p> <p>保育事業の充実と業務の見直し</p> <p>保育士の資質向上と親育ち4363と連動した親支援の充実</p>	<p>1. 保育資質向上と業務の見直し</p> <p>①園内研（年3回）を実施。保育内容を発展、充実</p> <p>②各種研修会に参加し交流しあうことで、保育内容および資質の向上</p> <p>③園児、職員への負担軽減のため行事・地域交流の日程や取り組み方を見直し、即時検証</p> <p>④職員年休取得率向上のため、年間計画を見通しながら適切に人員を配置</p> <p>2. 親支援の推進</p> <p>①たじっこチャレンジ（年3回）を実施し、統計をもとに保護者へ周知</p> <p>②園だより、通信、懇談会を利用し、生活習慣の向上につながる情報を発信</p>	<p>1. ①東濃県事務所の指導を受け6月に実施。12月・1月に教育研究所の指導を受け実施。指導をもとに保育を充実。</p> <p>②アレルギー・支援児教育・家庭教育などオンライン研修も利用し参加。職員会等で報告し合うことで、保育の質を向上。</p> <p>③コロナウイルスのため各行事の見送りや延期。</p> <p>④職員の年休取得しやすき環境を作り、職員間での協力体制を推進。</p> <p>2. ①7月・12月・2月に実施。保護者が常に確認し、定期的に生活習慣の見直しを実施。</p> <p>②懇談会資料、クラスだより、園だよりを利用し、定期的に保護者への周知を実施。</p>
<p><b>目標3</b></p> <p>要支援児保育の充実</p> <p>要支援児に対する支援の充実と関係機関との連携</p>	<p>1. 支援の充実</p> <p>①発達を踏まえた個別支援計画を作成</p> <p>②ケース検討会議（月1回）を開催</p> <p>③就学相談など保護者との個別懇談を適宜実施</p> <p>④関係機関（発達支援センター、ことばの教室、保健センター）と連携した支援の充実</p> <p>⑤訪問支援を活用することで支援教育力を向上</p> <p>2. 小学校へのスムーズな移行</p> <p>①小学校との交流を実施</p> <p>②中学校区教育懇談会（年2回）、連絡会（年1回）、各小学校との職員交流を実施</p> <p>③小学校と連絡を取り合い、就学後の姿を交流</p>	<p>1. ①5月に作成した個別支援計画に基づいた支援を連携を取りながら行い、3月に成果の確認の実施。</p> <p>②毎月実施。全職員で園児の姿や支援方法について確認。日々の保育が充実。</p> <p>③支援コーディネータを中心とし、保護者との面談を実施。保護者が納得し、安心できる就学先を選定。</p> <p>④療育の見学で学んだことを担当や職員間で交流。支援の内容が向上（8月）。</p> <p>⑤専門的な助言を受け日々の保育支援を実施。</p> <p>2. ①コロナウイルス感染予防のため、見送り。</p> <p>②感染拡大予防の状況により3月実施予定。</p> <p>③感染拡大予防の状況により3月実施予定。</p>
<p><b>目標4</b></p> <p>危機管理体制の強化と安全な保育の実践</p> <p>安全教育の実施のための環境整備</p>	<p>1. 危機管理体制の強化</p> <p>①施設、遊具の安全点検を毎月実施</p> <p>②避難訓練、交通指導（毎月）、防犯訓練（年4回）を実施</p> <p>③保護者会と連携、消防職員によるAED講習実施</p> <p>2. 安心安全な保育の実施</p> <p>①感染症（コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等）拡大防止のための環境整備（清掃、換気、消毒）を徹底</p> <p>②食物アレルギー児への適切な対応の徹底</p> <p>③うがい、手洗いの習慣づけ、および家庭に向け予防意識の周知、正確な情報を発信</p>	<p>1. ①毎月実施し、安全な保育環境を整備。</p> <p>②毎月実施。職員、園児の危機管理意識が向上。</p> <p>③感染拡大予防のため、人数制限をし12月に実施。</p> <p>2. ①清掃、消毒、換気を徹底。施設への入場制限の実施。3密を避けるための視覚的な環境を整備。</p> <p>②アレルギーチェックを3段階で行い、安全な給食の提供を実施。手洗い場の個別使用やガードなど安全な環境を整備。</p> <p>③日々の保育における視覚的な環境の整備や啓発を実施。園だよりやクラスだよりなどで定期的に必要性を保護者へも周知。</p>
<p><b>目標5</b></p> <p>地域に開かれた幼稚園運営の充実</p> <p>地域と密着した幼稚園運営の充実</p>	<p>1. 地域と連携した園運営</p> <p>①ボランティアを継続活用、絵本読み聞かせ（月1回）、パトロール随時、木製玩具交流</p> <p>②野菜作り、正月遊び、草花遊びなどで交流</p> <p>2. 地域に根ざした幼稚園の構築</p> <p>①小学校3回、中学校1回、児童館2回、多容荘2回、保育園3回、園児との世代間交流の検討と実施</p> <p>②各連絡会議・評議員会にて連携</p> <p>③実践報告を地域に発信</p> <p>④丁寧な苦情対応の徹底</p>	<p>1. ①交通安全指導、園周辺の安全指導、木製玩具交流により地域との連携を強化。</p> <p>②感染拡大防止対応状況に応じて、感染予防対応を整え、地域高齢者による栽培指導を実施。交流が不可能な時期には、電話による指導を実施。</p> <p>2. ①感染拡大予防のため実施見送り。後期検討。</p> <p>②1回目は書面にて実施。2回目は中止。3回目は2月に実施予定。</p> <p>③「わんぱくやまだより」を3回作成し、地域に回覧。園活動を地域に周知。</p> <p>④保護者からの意見については、迅速な対応を実施。</p>
<p><b>b</b> 独自目標加算 （任意設定）</p> <p>例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等</p>	<p>（目標設定）</p>	<p>（成果）</p>

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標		達成度	
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
<p><b>目標1</b></p> <p>健全な心と体をはぐくむ保育の充実</p> <p>体を動かす心地よさと充実感による体力の向上</p>	<p>1. 園児の体力向上と危険回避能力の促進</p> <p>①毎日5分～10分間体を動かし続けるいきいき運動遊び（げんきタイム）の実施</p> <p>②幼児期運動指針に基づいた「幼児期に経験する28の基本的な動き」を取り入れた遊びの実施と、思わず体を動かしたくなるような環境構成と用具の活用の工夫</p> <p>③集団遊びで、走る、止まる、方向転換をする、速度を変えるなど体をコントロールする力の獲得</p> <p>④体力テストを2回実施し、効果を確認</p> <p>2. 家庭への啓発</p> <p>①家庭への体力向上の重要性の周知</p> <p>②家庭内で取り組める親子遊びの紹介推進</p>	<p>1①毎朝実施し意識向上。振り返りを月1回実施し意図的に動きを引出す方法を検討して内容が充実</p> <p>②様々な動きを意識的に取り入れ実施。年齢により体の体幹の課題有、活動工夫を継続</p> <p>③集団遊びにて体をコントロールする力が伸び、機敏に動く姿が増加。年長児の転倒者減少</p> <p>④体力テストを7月、11月に実施。結果をグラフ化しクラスごとに分析、課題検討し保護者周知</p> <p>2①親子遊び通信発行（3回）必要性啓発。体力測定結果から成果と課題を保護者に周知し、戸外遊びを意識する家庭増②親子遊び通信、園便り、各クラス便りにて紹介、実践した家庭からの声を再度保護者へ啓発し好評</p>	T2
<p><b>目標2</b></p> <p>保育事業の充実と業務の見直し</p> <p>保育士の資質向上および安全管理</p>	<p>1. 保育士の資質向上</p> <p>①外部講師を招き園内研修を3回実施し保育力の向上</p> <p>②隔週でエピソード交流研修実施、保育士の資質向上</p> <p>③各種研究会に参加し、学びを職員に周知し共通理解するとともに保育へ有効活用</p> <p>④なかよし遊びの内容工夫と環境整備による充実</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応</p> <p>①各種感染症の正しい理解と防止策の徹底実施</p> <p>②正しい手洗い、うがいの指導と習慣づけ、マスク着用の徹底と予防法の周知</p> <p>③保育室内外の清掃、消毒、換気の徹底</p> <p>④給食時の飛沫感染防止の徹底</p>	<p>1①外部講師を招き公開保育と研究会を6.7.1月に実施</p> <p>②月3回実施。幼児を多角的に捉える視点が向上</p> <p>③研究会後に職員間で情報共有し活用、保育士の知識技術が向上</p> <p>④隔週で内容検討と環境整備を実施し遊びが充実</p> <p>2①感染症に対する知識の共有と対処法の手順や方法を職員間で確認し、防止策を遂行</p> <p>②園児への分かりやすい指導のための絵表示やこまめな声掛けと見届けによる習慣化定着</p> <p>③消毒、換気等を徹底し感染防止</p> <p>④黙食、パーテーションの設置、保育者の手袋マスク着など、感染予防徹底し安全に給食提供</p>	T2
<p><b>目標3</b></p> <p>保育の向上と研究の推進</p> <p>多治見市指定研究発表の実施</p>	<p>1. 研究主題「豊かな心と体を育む」の推進</p> <p>①令和3年度多治見市指定研究発表にて、研究構想図に沿った実践を公開発表（11月）</p> <p>②推進委員会を中心に、研究内容に沿った子どもの育ちを討議分析し8月末までに冊子作成</p> <p>③研究結果をPowerPointに集約し発表</p> <p>2. 感染症に配慮した研究発表会の実施</p> <p>①教育委員会、園長会、子ども支援課と協議し感染防止に配慮した実施方法の検討</p> <p>②研究発表参加者の安全の確保</p>	<p>1①開催規模を縮小して11月11日に実施。公開保育と研究発表、分科会を実施し職員の自己肯定感向上。研究成果の周知から他園保育士の知識進展へ一助</p> <p>②研究内容が伝わる研究紀要を作成し好評</p> <p>③PowerPointで研究成果を発表し、参会の保育士及び教育委員会より分かりやすかったと好評</p> <p>2①新型コロナウイルス感染症の状況を常に把握し、各機関と相談し実施方法を模索。感染症対策に配慮して実施</p> <p>②動線、消毒、換気、時短、体調管理など安全確保を徹底し、安全に決行</p>	T2
<p><b>目標4</b></p> <p>要支援児保育の充実</p> <p>要支援児に対する支援の充実と保護者および関係機関との連携</p>	<p>1. 支援児保育の充実</p> <p>①発達の特徴を理解し個別支援計画を作成。記録から育ちを分析し支援内容の充実</p> <p>②ケース検討会議（月1回）を開催</p> <p>③関係機関（ことばの教室、保健センター）と連携（年3回）した支援の充実</p> <p>2. 保護者支援の充実</p> <p>①保護者との個別懇談（年3回は実施し後は随時）で家庭と連携</p> <p>②就学を見据え保護者と学びの場について共通理解し、小学校との連携を強化</p>	<p>1①担任、支援担当、特支コーディネーターで検討しあい個別支援計画を作成（5月）。月案、週案に反映させ、支援方法を明確化した保育を展開</p> <p>②ケース検討会議を月1回実施（10回）</p> <p>③言葉の教室の療育見学（3回）園見学とカンファレンス（2回）を実施。保健センターへの勸奨や3歳半検診との連携を強化し支援が充実</p> <p>2①要支援児保護者と個別懇談3回、合意形成を兼ねての懇談を2回実施し保護者と共通理解を推進</p> <p>②就学について保護者と懇談を重ね、学びの場について検討し決定。小学校への引継ぎを強化しスムーズな就学へ遂行</p>	T3
<p><b>目標5</b></p> <p>地域と運動した園運営の充実</p> <p>地域力を生かした保育の推進と提供</p>	<p>1. 保護者への園活動の理解や情報提供</p> <p>①園便りやHPでの情報提供、学年懇談会（年2回）や個別懇談（年2回）の実施</p> <p>②クラスだよりにてのねらいや園児の姿が伝わりやすい内容と構成の工夫および月2回以上の発行の実施</p> <p>③命を守る訓練の実施</p> <p>2. 地域性を生かした交流</p> <p>①笠原校区幼保小合同引取訓練の実施（5月7日）</p> <p>②笠原校区一貫教育（英語・学力向上・道徳・読書活動）の充実</p> <p>③栽培活動や行事を通して多悠会との交流実施</p> <p>④評議委員会（年3回実施）での園活動の周知と理解</p>	<p>1①園便り20回発行、HP毎月、学年懇談会紙面1回と2月予定。個別懇談3回実施し保護者と連携</p> <p>②写真を利用し、保育のねらいや園児の様子が伝わるクラスだよりを発行し理解促進（22回）</p> <p>③毎月実施、スモーク体験など消防署と連携し命を守る行動強化</p> <p>2①予定通り実施し引取ルートを確認周知</p> <p>②小学校と保護者の読み聞かせを後期に再開。お便りで家庭へ一貫教育の取組報告や必要性を周知し理解促進（年3回）</p> <p>③少人数にて間隔を取り栽培収穫の際に交流実施</p> <p>④第1回紙面開催、第2回中止、第3回2月開催予定。園の活動を報告周知し地域理解を促進</p>	T3
<p><b>b 独自目標加算</b> （任意設定）</p> <p>例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等</p>	（目標設定）	（成果）	

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標			達成度
標題	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
<p><b>目標1</b></p> <p>健全な心と体を育む保育の充実</p> <p>一人一人が充実感を味わうための指導の実施</p>	<p>1. 子どもの主体性を育てる援助と対応</p> <p>①子どもの体力向上のため年齢に応じた指導計画（体力アッププラン）を作成</p> <p>②体力アッププランを活用したいいきいき運動遊びを毎日実施</p> <p>③体力測定を行い体力向上の効果を確認（3月）</p> <p>④子どもの実態に合った保育内容と環境の工夫</p> <p>2. 保育士の資質向上のための研修の実施</p> <p>①保育研究会、専門研修、各種研修会に参加し保育士の資質向上と保育内容の充実</p> <p>②保育記録の取り方、活かし方を学び保育を充実</p>	<p>1. ①②年齢の課題に合わせた体力アッププランを基にねらいに合わせた器具を工夫し、いきいき運動遊びを毎日実施。子どもの運動能力・巧緻性・敏捷性が向上</p> <p>③体力測定により子どもの実態をつかみ、ボール投げ・的あてを遊びに取り入れ運動機能を強化</p> <p>④子ども実態をつかみ、体力・興味に配慮し課題を設定。年長は竹馬、年中児は縄跳びを実施</p> <p>2. ①各種研修会に参加。学びを職員会にて報告、職員間で共有し保育実践に活用</p> <p>②週案・月案・個別などの保育記録を定期的に確認。子どもの姿のとらえ、振り返りが次の内容につながるよう指導を実施</p>	T2
<p><b>目標2</b></p> <p>保育事業の充実と業務の見直し</p> <p>業務内容の充実とチームワークを生かした園運営</p>	<p>1. グループで取り組めるよう担当制を取り入れた保育事業の推進</p> <p>①園庭開放、出張保育の実施</p> <p>②地域と連携した交流活動の実施</p> <p>③行事ポスター・HPを活用した事業の発信</p> <p>2. 家庭と連携した保育の充実</p> <p>①園だより、クラス通信、参観及び懇談会で保育内容を周知</p> <p>②早寝・早起き・朝ごはんの啓発で生活習慣の見直しと改善</p> <p>③NOテレビ・NOゲームの日について周知</p>	<p>1. ①コロナ禍のため事業を縮小。12月より感染対策を講じながら実施</p> <p>②児童館の幼児クラブへ製作物を提案・材料配布</p> <p>③行事ポスター・HPにて活動内容を発信。職員間の得意分野を生かした保育を実施</p> <p>2. ①前期は各種便りの発行と個別懇談の実施で保育内容を周知。登園自粛児へ配慮し11月に運動会を実施。保護者へ保育内容を発信、成長の姿を共有</p> <p>②早寝・早起き・朝ごはんなど生活習慣についての傾向と見直しのアイデアを発信</p> <p>③NOテレビ・NOゲームの日を設定し親子での過ごし方、ふれあい遊びについて園だよりで提案（4回）。毎月掲示で保護者の意識が向上</p>	T2
<p><b>目標3</b></p> <p>要支援児保育の充実</p> <p>児の理解を基にした支援内容の充実と、他機関との連携</p>	<p>1. 要支援児保育の充実</p> <p>①個別支援計画の作成。記録を生かした支援内容の充実</p> <p>②関係機関（発達支援センター・ことばの教室・保健センター）と連携した支援の充実</p> <p>③ケース会議の実施。個別の課題を明確にし日々の保育に反映</p> <p>④小集団保育を実施。自己充実感の味わえる保育の実施</p> <p>2. 要支援児保護者への支援の充実</p> <p>①保護者への声掛け、信頼関係の構築</p> <p>②個別支援計画、支援シートを作成し保護者と共有。保育内容に反映</p>	<p>1. ①個別支援計画に基づき一人一人の課題を整理し計画を見直しながら保育を実施</p> <p>②関係機関と連携し、子供や保護者の情報を共有して個別支援を実施</p> <p>③ケース会議（16回）にて個別の課題を確認。子ども理解と支援内容・環境整備の工夫を実施</p> <p>④一人一人が充実感を味わう小集団活動を、8回実施。子どもの意欲と自己肯定感が向上</p> <p>2. ①受診後など保護者の不安を察知し保護者面談をこまめに実施</p> <p>②支援計画について懇談（年2回）で保護者と共有。家庭と連携して支援を実施</p>	T3
<p><b>目標4</b></p> <p>安心安全な給食の提供と食育の充実</p> <p>子ども食生活と健全な心身の成長を図る食育の推進</p>	<p>1. 栽培活動の実施</p> <p>①年齢に合った栽培計画の立案と実施</p> <p>②収穫野菜を生かしたメニューの提案</p> <p>2. 調理員と連携した食育の推進</p> <p>①安全で温かい給食の提供</p> <p>②食べることの意識とマナーの向上</p> <p>③バイキング給食の実施と食育指導</p> <p>④給食委員会に参加し他園と交流</p> <p>⑤園だよりに食育についての記事を掲載</p> <p>3. アレルギー児への適切な対応及び衛生・食品管理の徹底による安心安全な給食の提供</p>	<p>1. ①栽培計画に沿って年長8種、他8種を実施</p> <p>②便りで保護者に野菜を生かしたメニューの提案と家庭での取り組みを交流</p> <p>2. ①毎日検食をし安全で出来立ての給食を提供</p> <p>②③④給食委員をリーダーに、食育とマナー指導を実施。給食委員会にて各園と交流</p> <p>⑤園だよりやクラスだよりに食育についての記事やレビを掲載。保護者へ周知（4回）</p> <p>3. アレルギー対応について、全職員へ周知。毎日の衛生・食品管理を徹底して実施。異物混入・誤食防止に意識改革と対応を強化</p>	T3
<p><b>目標5</b></p> <p>安全管理・子どもの人権を守る保育の実施</p> <p>保育環境の安全と安心な保育の実施</p>	<p>1. 職員間の連携強化</p> <p>①情報共有のための小会議の実施</p> <p>②子どもの人権を守るための基礎知識とモラルの習得</p> <p>③連絡ボードの活用で見通しを持った保育の実施</p> <p>2. 危機管理体制の強化</p> <p>①保護者と連携した新型コロナウイルス等感染症対策、予防の徹底</p> <p>②交通指導・避難訓練・防犯訓練・午睡チェックの実施と振り返り</p> <p>③施設内の巡回と安全点検（毎週）の実施</p>	<p>1. ①連携強化のための伝達会を全員に実施（月1回以上）</p> <p>②人権保護の意識とモラルの向上のため、毎月の職員会で周知徹底。12月に振り返りを実施し意識を強化</p> <p>③連絡ボードの活用で協力意識が定着。職員間の連携が強化</p> <p>2. ①基本的な感染対策、蔓延防止、緊急事態に合わせ保護者へ依頼。予防を徹底</p> <p>②交通指導・避難訓練を毎月、午睡チェックは毎日、防犯訓練（年3回）を計画的に実施</p> <p>③施設点検・安全点検を毎週実施</p>	T3
<p><b>b 独自目標加算</b> (任意設定)</p> <p>例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等</p>	(目標設定)	(成果)	

令和3年度組織目標兼管理職個人目標管理シート

組織目標兼管理職個人目標		達成度	
目標	実施する業務の内容	成果（評定時に記入）	
<b>目標1</b> 健全な心と体を育む保育の充実 一人一人が充実感を味わうための指導、支援の充実	1. いきいき運動遊びの充実 ①園舎の環境に合わせた「体力アッププラン」を作成。新たな遊びを工夫し、教材等を工夫し、いきいき運動遊びを毎日実施 ②職員間で検討し、巧みに動く体作りに向けて共通理解 ③教育委員会と連携し、体力測定を実施(年1回)し、成果を確認(3月) ④保護者へ健康・体力づくりの情報を提供 2. なかよし遊びの充実 ①定期的に職員間で話し合い、共通理解 ②夢中になって遊べるなかよし遊びの環境を工夫し、友達との関わりや遊びを工夫する力を増進	1. ①「体力アッププラン」に基づき、年齢に合ったいきいき運動遊びを毎日実施 ②子どもの現状を把握し、職員間で検討。体作りに向けて共通理解。 ③教育委員会と連携し、7月に体力測定を実施(年少は園独自に1月実施)年度末に成果を確認 ④園だよりを通じて、保護者に健康・体力づくりの情報提供(12回) 2. ①職員間で話し合い(毎日)、子どもの様子・関わり・育ちを共通理解し、実践 ②なかよし遊びの年間計画を再検討。環境を工夫し、友達とのかかわりや遊びを工夫する力を増進。	T2
<b>目標2</b> 保育事業の充実と業務の見直し 保育士の資質を高め円滑な運営	1. 保育事業の充実 ①年齢に応じた指導計画の工夫と改善の実施 ②研究主題の理解と実践内容の研究 ③個を理解し成長発達等の記録と適切な評価の実施 ④接続カリキュラムを見直し、小学校との接続を充実 2. 保育業務の見直し ①朝礼を活用し、職員間の共通理解、周知の徹底(職員会の時間短縮) ②学年会、職員会の活用を工夫(職員会の時間短縮) 3. 医療的ケア児受け入れに向けての準備 ①医療的ケアについて職員間で学習し、共通理解 ②安心・安全な受け入れに向けての環境構成の検討、受け入れ準備	1. ①教育課程・指導計画の改善を実施(5月) ②園内研を実施(6回)指導援助、環境構成を検討、実践し保育力の向上 ③④個の理解を深め、週案・エピソード・提案資料を作成し、職員間で交流。保育者の評価力が向上 2. ①朝礼で感染症対策・報告・アレルギー等の確認を実施。職員間の共通理解と周知の徹底を強化 ②事前協議を実施。職員会の時間短縮と共通理解の強化 3. ①医療的ケアについて職員間で学習、共通理解 ②医療的ケア児2名の保護者や担当医師、次年度担当予定の看護師と面談。安心・安全な受け入れに向けて環境構成の検討や準備を実施。	T2
<b>目標3</b> 要支援児保育の充実 要支援児に対する支援の充実と保護者支援の充実	1. 支援児保育の充実 ①発達の特徴を理解し個別支援計画を作成。記録を生かした支援内容の充実 ②ケース検討会議(月1回)の充実 ③個別懇談(年2回)を実施し家庭と連携 ④関係機関(発達支援センター、ことばの教室、保健センター、子ども支援課)と連携した支援の充実 2. 小学校へのスムーズな移行. ①小学校との交流を年2回実施 ②中学校区教育懇談会(年2回)、連絡会(年1回)、スマイルブック・就学支援シートを活用しての小学校へのスムーズな移行の実施	1①個別支援計画を作成(31名)。週案に記録しながら個に合わせた支援方法を検討、実践 ②ケース会議(月1回)を実施。アセスメント表を取り入れ討議。子ども理解と支援方法の向上 ③個別懇談(5回)を実施し共通理解、家庭と連携 ④関係機関と連携(療育見学、カンファレンス参加)を強化し支援方法や保護者支援の充実 2. ①小学校と職員同士の連絡会を実施(2月)。就学に向けた支援を充実 ②中学校教育懇談会(書面開催1回,1月開催予定)幼保小連絡会(11月)に参加。スマイルブック・就学支援シートを活用し、小学校への引継ぎを強化。	T3
<b>目標4</b> 親支援の充実 親育ち4363と連動した親支援の充実	1. 保護者支援の充実 ①園だより、クラス通信、学級懇談会、個別懇談を実施し家庭との連携を強化 ②職員間で話し合い、保護者支援の共通理解 ③園生活や行事の様子をポスター・HPで発信 2. 早寝・早起き・朝ごはんの推進 ①園だより(年3回)や懇談会(年2回)で早寝・早起き・朝ごはんの大切さを周知 ②クラスや年齢に応じた内容を検討し、保護者アンケート(年1回)を実施 ③アンケート結果を分析して保護者に周知	1. ①園だより、クラス通信、個別懇談(3回)、登園自粛中の不安解消を含めた電話対応・教材配布を実施。家庭との連携を強化 ②職員会で話し合い、保護者支援の共通理解。家庭や保護者の状況に応じて、個別懇談に参加し、連携の強化。 ③園生活や行事の様子などクラスだより、HPで発信 2. ①園だより(8回)、懇談会(2回)で早寝・早起き・朝ごはんの大切さを周知 ②生活習慣アンケートを実施(5月、1月)懇談会の資料にて正しい生活習慣を喚起 ③アンケート結果を分析し、保護者に周知(3月)	T3
<b>目標5</b> 危機管理体制の強化と安心安全な保育の充実 安全教育の実施と安心で清潔な環境の提供	1. 感染症対策 ①新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等の感染防止を徹底 ②保育室の喚起、清掃、消毒を実施 ③正しい手洗い・うがいの指導を実施。習慣づけと予防の意識を家庭へも周知 ④園医と連携し、園児の健康管理を徹底 2. 危機管理体制の強化 ①施設・遊具の安全点検を実施(月1回) ②環境整備とヒヤリハット表の作成 ③引き取り訓練の実施(年2回)命を守る訓練・交通指導(月1回)、防犯訓練(年3回)の実施 避難経路の見直し	1. ①感染拡大防止を保護者と連携し、徹底。マスクの着用、健康チェック、手洗いを毎日実施 ②保育室の換気、清掃、消毒を毎日実施 ③正しい手洗い・うがいを指導。習慣づけと予防の意識を園だよりを活用し、家庭に周知 ④園医との連携し、園児の健康管理を実施 2. ①安全な保育環境推進のため、施設・遊具点検を実施(月1回) ②ヒヤリハット表を作成、環境整備を実施 ③引き取り訓練(4月、6月)、命を守る訓練・交通指導(月1回)、防犯訓練(年2回)の実施。避難経路図(5月)・水害・土砂災害避難確保計画(7月)を作成。	T3
<b>b 独自目標加算</b> (任意設定) 例：自主研究グループ活動などの自己研鑽、職員提案活動、施策の紹介・普及活動 等	(目標設定)	(成果)	